

# Warabeya Nichiyō HLDGS.

## 第55期 株主通信

2018.3.1 &gt;&gt; 2019.2.28

### グループ理念

私たちは「安全・安心」と「価値ある商品・サービス」の提供を通じて、  
お客様の健康で豊かな食生活に貢献します。



◆ 安全・安心、価値ある商品・サービスをグループの力で作ります。 ◆

### Series

わらべや日洋グループの強みを探る !! 4

### [生産技術力]

1秒あたりに生産する  
おにぎりの数



約22個/秒

工場は休むことなく  
稼働している

24時間/365日

### 徹底した「味の追求」は詳細なデータと技術から。

例えば老舗店のメニューなど、目指す味の再現のために、わらべや日洋グループは**素材・調理方法**などを詳細に分析、**データ化**しています。そして均一に量産化できる生産機械を開発し、生産効率の最大化を狙った作業動線を築きます。

各工場では、**食材の入荷から商品の出荷に至る一連の作業動線をワンウェイ化**し、**効率的な作業を実現**するとともに、ひとつひとつまごころを込めた盛り付けで商品の美しさにもこだわっています。



**IH炒め機**

▲本格中華のようなパラパラとした炒飯ができます。

▼30秒に1回のペースで流れてくる釜をあげ、炊き上がったご飯を手早くほぐします。



**炊飯**



**炭火焼成機**

▲熱源には本物の炭を使用しています。肉や魚を調理します。



**フライヤー**

▲唐揚げや天ぷらを調理します。唐揚げを1,200個/時間、生産することができます。

▼お弁当の盛り付け、包装を丁寧に行います。



**お弁当のライン**



**おにぎりのライン**

▲ふっくらとした美味しいおにぎりを作るための研究は、今も続いています。



## トップインタビュー

# 持続的成長に向けた仕組みづくりに注力してまいります。



代表取締役社長  
大友 啓行

2019年2月期は、食品関連事業において米国テキサス州でセブン-イレブン向けサンドイッチを製造・販売するプライム・デリ社を連結の範囲に含めたことにより売上が拡大したものの、食材関連事業における水産加工品の取扱高減少を主要因として、連結売上高は減収となりました。また、利益面においては、人件費、物流コスト、エネルギー価格の上昇影響などにより減益となりました。

このような事業環境を踏まえ、2020年2月期は、主力である国内食品関連事業の収益回復と次なる成長に向けた海外事業の拡大の2点に注力します。

国内においては引き続き厳しい事業環境が見込まれますが、お客様から支持を得られる商品を開発、提供しながら、生産性向上と商品規格変更に取り組みコスト上昇に対応することで、適正利益の確保に努めてまいります。また、20℃帯の弁当から「チルド弁当」へのシフトが加速している

状況を踏まえ、チルド化への対応と同時に稼働率向上を実現するため、国内に27工場ある生産体制の再構築を進めていきます。

当社グループの成長分野として位置づけている海外事業については、プライム・デリ社において日本式チームマーチャンダイジングによる商品開発が軌道に乗るとともに、7-Eleven, Inc.がサンドイッチなどのFFカテゴリーを強化、拡大する方針であることから、2020年2月期の売上高は約10%の成長を見込んでいます。引き続き開発と生産の両面からノウハウを移植することで、北米におけるビジネスモデルを確立したいと考えています。

グループ各事業においても新規事業に取り組み、2020年2月期の連結営業利益は25億円、3年後の2022年2月期の連結営業利益は38億円を計画しております。

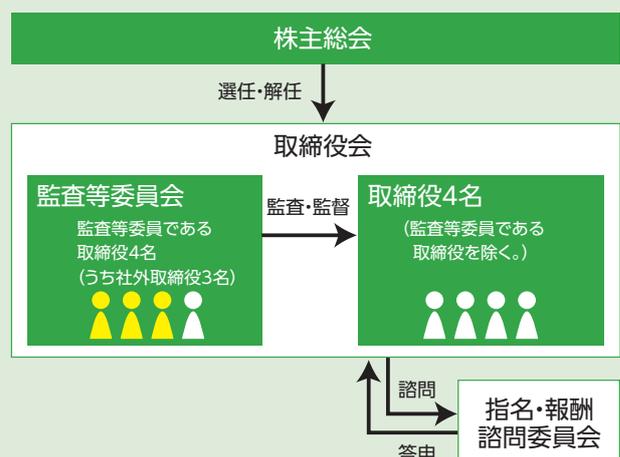
株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ガバナンスの強化に向けて

当社は2019年5月23日開催の第55回定時株主総会の決議を経て、監査等委員会設置会社へ移行しました。

### 移行の理由

委員の過半数を社外取締役で構成する監査等委員会を設置することで取締役の監督機能を強化し、コーポレートガバナンスの一層の充実を図るため、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行するものです。



持続的な企業価値の向上を目指して

わらべや日洋グループでの  
ESG※の取り組み



## ダイバーシティ 経営の取り組み

### 活躍する外国人社員

わらべや日洋(株)では多様な人材の活用を通じて会社の競争力を高めていくことを目的とし、2017年3月にダイバーシティ推進室を設置しています。2017年12月には、東京オリンピックの開催に合わせた2020年8月の達成を目標に、ダイバーシティ経営の実践を図る「WAP (Warabeya Action Plan) 2020推進委員会」を立ち上げました。「WAP2020推進委員会」では、特に外国人社員と女性社員の活躍の観点から5つの分科会を設置し、多様な人材が働きやすい会社づくりのために、具体的な取り組みを検討し、順次実施しています。

工場で働く外国人パートナー\*の方々が増えている実態にあわせ、外国人パートナーの国籍シェアに比例した外国人社員の採用も進めています。これは、外国人パートナーの働きやすさには、母国語対応と文化的配慮が重要と考えるからです。

わらべや日洋(株)ではすでに外国人社員が40人以上在籍しており、開発、製造、管理部門やグループ会社など、様々な部門で活躍しています。2019年1月には外国人社員同士の交流会を開催し、外国人としての能力を仕事で生かしている点や不安に感じていることなどを話し合い、働きやすい会社づくりに向けて意見交換をしました。



\*パートナー…わらべや日洋グループにおけるパート従業員の呼び方



V.Nさん(ベトナム)  
2013年4月入社

工場で働くパートナーさんたちの出身は、フィリピン、ベトナム、ネパール、中国など様々です。信頼関係を築くためにコミュニケーションをとるうちに、色々な国の文化を知ることがとても楽しいです。



W.Sさん(中国)  
2013年1月入社

入社当初は工場の製造設備と技術力、効率的な仕組みにとっても驚きました。中国からの技能実習生の通訳をして自分の能力を生かしています。将来は機械操作やメンテナンスができるように勉強を続けています。



F.Dさん(中国)  
2016年4月入社

WAP2020のプロジェクトを通じ、「会社が発展していくためには外国人が大事だ」というメッセージをくれたと思います。わらべや日洋の仲間として、これからもひとつずつ仕事を身に付けながらがんばります。

## 株式会社ソシアリンク 研修施設を増強

人材派遣関連事業のソシアリンクでは、外国人技能実習生をサポートする事業として入国後講習を行っています。約1ヶ月のカリキュラムで、日本語、生活に関する知識、法的保護に必要な情報、円滑な技能修得のための専門知識などを技能実習生に対し講習を行います。また、技能実習生が配属後も円滑に業務を行えるよう、配属先特有の教育プログラムも導入しています。

今後も外国人技能実習生の増加が見込まれることから、ソシアリンクでは2018年1月に開設した足柄研修センターに続き、2019年3月に熱海研修センターを開設し、入国後講習の受入拡大を図っています。



足柄研修センター



集合研修の様子

手洗い講習の様子

※ ESG (Environment Social Governance) とは… 環境、社会、ガバナンスの略



## 新商品NEWS

洋食の定番がチルド弁当で新登場

### 玉子を味わう!「ふわつとろ」オムライス



価格:460円(税別)  
販売地区:全国

おいしくなってリニューアル

### こだわりたまごのサンド



価格:220円(税別)  
販売地区:全国

セブン-イレブン専用卵「ななたま」を使用してコクと風味をアップ! 卵白の柔らかさにもこだわりました。

専用設備で調理した今までにない「ふわつとろ」食感で、玉子本来の風味・旨みを追求しました。



## WARABEYA PROJECT

### 第3回社員家族向け工場見学会

社内コミュニケーションの活性化を目的とする「輪らべやプロジェクト」にて、家族向け工場見学会を2018年8月に開催しました。今回の工場見学会に参加したのは8家族22名で、元気いっぱいの子どもたちに工場のお弁当づくりを体験してもらいました。「輪らべやプロジェクト」では、工場見学会の他にも公認サークル、料理コンテスト、地引網・バーベキューツアーなどを行い、コミュニケーションの輪を広げています。

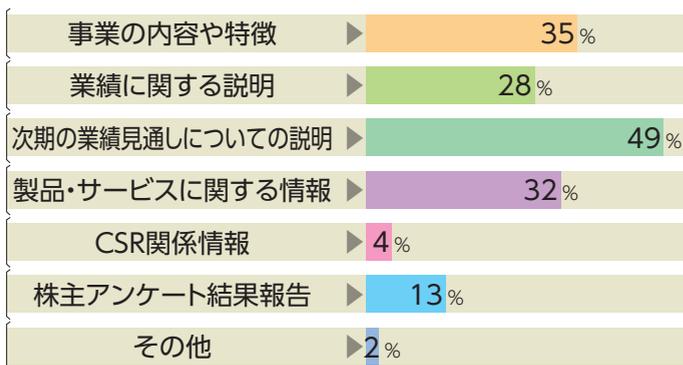


## 株主様 アンケート結果

### アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

当社では頂戴したご意見を真摯に受け止め、IR活動の参考とさせていただきます。ここにアンケート集計結果の一部についてご報告するとともに今後ともアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

Q 株主通信について、今後充実を希望する情報を教えてください。(複数回答可)



### ご意見・ご声援コーナー

人材の育成・活用による業績拡大と株主還元をお願いします。

今後とも積極的なIR活動を期待します。

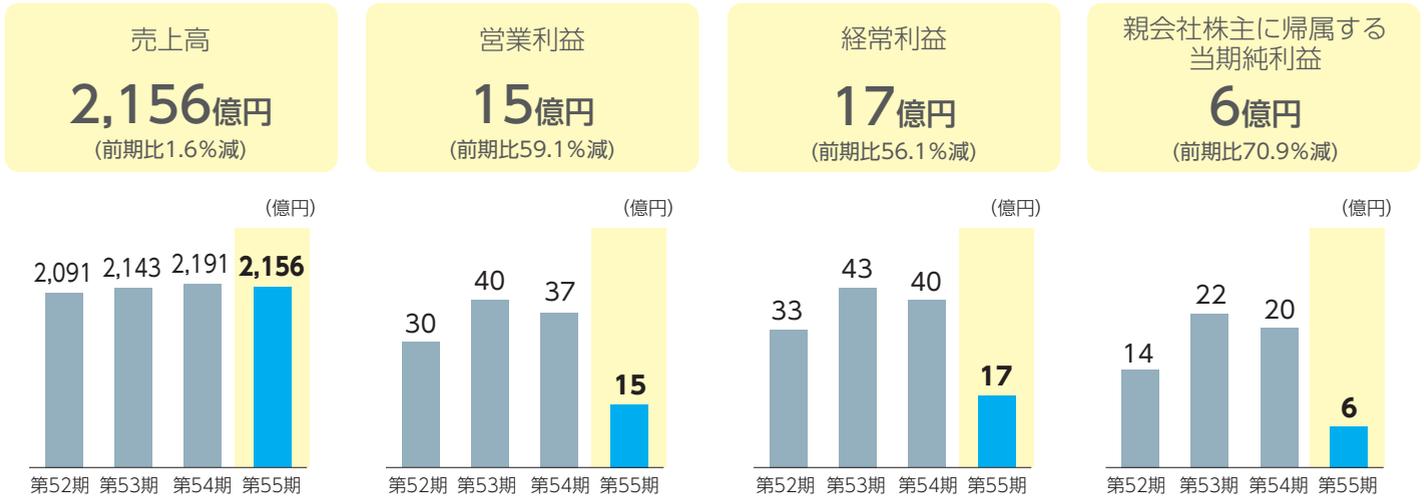
食品関係なので安全第一で堅実な経営をお願いいたします。

品質管理に力を入れる姿勢を支持します。おにぎりがおいしいので新製品が楽しみです!

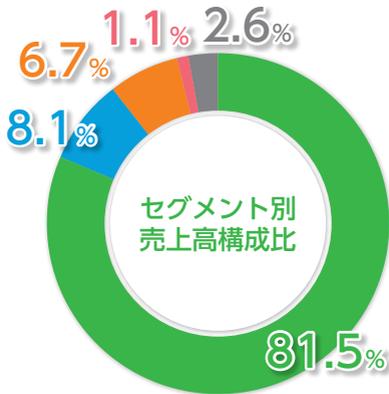
がんばります!

アスリート社員に期待します!





セグメント別の概況



食品関連事業



コンビニエンスストア向けお弁当・おにぎり・調理パン・惣菜等の製造販売。

売上高	1,758億円	前期比 1.6%増
営業利益	15億円	前期比 52.9%減

食材関連事業



国内外からの食品用材料の調達・加工・販売。

売上高	174億円	前期比 28.7%減
営業利益	1億円	前期比 74.0%減

物流関連事業



食品・食材等の仕分・配送、物流システムの提案。

売上高	144億円	前期比 2.0%減
営業損失	0.8億円	前期は1億円の営業利益

食品製造設備関連事業



食品工場の建設から製造ライン・システムの企画・設計・施工、設備機器供給。

売上高	23億円	前期比 40.7%増
営業利益	3億円	前期比 37.0%増

人材派遣関連事業



人材派遣、業務請負。

売上高	55億円	前期比 9.3%増
営業利益	2億円	前期比 7.4%増

※第2四半期連結累計期間より、従来「その他」に含めていた「食品製造設備関連事業」と「人材派遣関連事業」をそれぞれ区分して表示しております。

通期の見通し / 2020年2月期連結業績予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	2020年2月期配当予想
2,195億円 (前期比1.8%増)	25億円 (前期比63.8%増)	27億円 (前期比52.8%増)	7億円 (前期比14.7%増)	1株につき 40円

詳細な財務情報は  
こちらを  
ご覧ください

[www.warabeya.co.jp/ir/library/result.html](http://www.warabeya.co.jp/ir/library/result.html)

もしくは→

[わらべや日洋ホールディングス](#)

検索



[トップページ](#)

[IR情報](#)

[IRライブラリー](#)



# 会社概要 (2019年2月28日現在)

## 会社概要

商号	わらべや日洋ホールディングス株式会社 (WARABEYA NICHIIYO HOLDINGS CO., LTD.)
設立	1964年3月18日
資本金	8,049百万円 東京証券取引所市場第一部上場
従業員 (連結)	社員2,311名 臨時従業員12,960名(1日8時間労働換算)
グループの 主な事業内容	調理済食品の製造、販売 食品用材料の仕入、加工、販売 食品関係の配送 食品製造設備などの販売 人材派遣および業務請負
発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式の総数	17,625,660株 (自己株式11,692株含む)
株主数	12,905名

## 株主優待のお知らせ

毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上保有されている株主様を対象に、**保有期間**および**保有株式数**に応じて、「オリジナルQUOカード」を贈呈いたします。



### 株主優待の内容

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
100株以上1,000株未満	1,000円のクオカード	2,000円のクオカード
1,000株以上	5,000円のクオカード	8,000円のクオカード

\*継続保有期間3年以上とは、同一株主番号で2月末日および8月末日基準の株主名簿に7回以上連続して記載または記録された株主様となります。

## 株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 2918

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信 kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

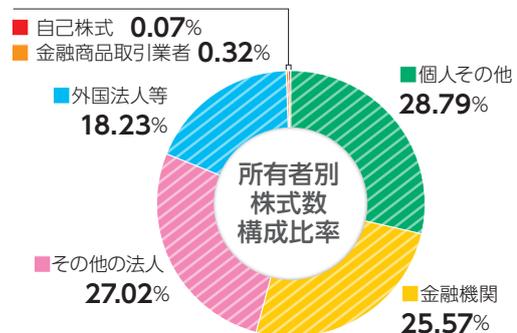
※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-6779-9487(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	2,195	12.46
株式会社大友アセットマネジメント	1,350	7.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,177	6.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	781	4.44
大友 啓行	520	2.96
わらべや日洋ホールディングス共栄会	492	2.79
株式会社三菱UFJ銀行	480	2.73
大友 恭子	283	1.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	259	1.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	256	1.45

(注) 1. 持株比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しております。  
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。なお、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(役員報酬BIP信託口)所有の当社株式62,470株は、自己株式に含めておりません。



## 株主メモ

事業年度	3月1日から2月末日まで
配当金受領株主確定日	期末配当金 2月末日
定時株主総会	5月
定時株主総会の基準日	2月末日 (定時株主総会において議決権を行使すべき株主の確定日)なお、その他必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	<a href="http://www.warabeya.co.jp/ir/accounting.html">http://www.warabeya.co.jp/ir/accounting.html</a>
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711(通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## わらべや日洋ホールディングス株式会社

〒162-8020 東京都新宿区富久町13番19号  
TEL:03-5363-7010(代表)  
<http://www.warabeya.co.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080